

平成 29 年度 第 1 回磐田市民文化会館跡地等利用検討委員会 会議録

開催日時 平成 29 年 5 月 18 日 (木)
午前 10 時 00 分から午後 10 時 50 分

開催場所 西庁舎 3 階 304 ~ 305 会議室

出席状況 委員 (7 名)
副市長、自治市民部長、企画部長、建設部長、産業部長、消防長、スポーツ・文化担当専門官
事務局 (6 名)
秘書政策課 (課長、課長補佐) 都市整備課 (課長) 文化振興課 (課長、主査 2 名)

議事内容

- 1 会館建設及び跡地利用の考え方について
- 2 今後の進め方について

．．． ．．． ．．． ．．． ．．． ．．．

会議内容

開 会

委員長あいさつ

議 題

議長 委員長

議題 1 . 会館建設及び跡地利用の考え方について

< 質疑応答 >

- (委員長) 跡地の利活用について考えていかなければならない。早期に構想づくりに取り掛かる必要がある。また、構想・計画を周知し市民の意見も聞く必要がある。5月10日の文化会館建設検討委員会の答申の中で「現文化振興センターの機能は跡地利用の中で検討することが望ましい」とされていることを踏まえて、跡地に整備する施設の機能や、会議の進め方等について色々な観点から意見をお願いしたい。
- (委員) 構想を早めに出していく必要がある。多くの問題をクリアする必要があると考えている。皆、色々な思案を持っていると思うので意見をお願いしたい。
- (委員) 用途変更するためには、約2年の期間が必要になる。跡地には、地区計画もある。跡地の検討にあたって、用途変更を前提に考えるのは難しい。
- (委員) 現在の文化振興センターの利用状況から考えると「展示できる施設、一定規模の会

議室」はほしいと考えるが、施設の母体がどうなるのか。複合施設での検討か、一番難しいところ。

(委員) スーパーゼネコンなどに話を聞いているが、本屋やファミリーレストランなどのロードサイド店の話はある。バーベキューのような感じをイメージしてもらえばよい。コンセプトがあればより具体的な提案が得られると思う。2020年までは、ゼネコンは仕事が詰まっており、今はそれ以降の仕込みの時期である。

(委員) 都市計画マスタープランの中では、にぎわい創出となっている。にぎわい創りだけならば、逆に考えると何でもできるのでは。

(事務局) 建設検討委員会の答申の中では、コンベンションホールと文化財や産業等も展示できる施設、一定規模の会議室などの機能が求められている。

にぎわいづくりを進めるためには、あまり使用されず、市の中心にある今之浦市有地の整備を考えることも重要である。

(委員) 今之浦市有地の利用について、西隣の今之浦公園との連携や回遊性を考慮すると、歩道橋を設置するのも面白いのではないか。シンボルにもなると思う。

(事務局) 跡地関係の予算の執行について意見はあるか。

(委員) 別途協議が必要。跡地の地盤調査などに充ててもよい。イメージ図くらいはほしい。

議題2. 今後の進め方について

(事務局) 次回以降は、今之浦市有地の部会は秘書政策課、また、会館跡地の部会は文化振興課よりそれぞれ関係する部署に通知して、集まっていただく形にしたい。

< 質疑応答 >

(委員長) 今後の進め方について、質問等あるか。

～意見等なし～

(委員長) それでは、以上で第1回文化会館跡地等利用検討委員会を閉会する。

< 議了 >

開 会